

# 施策評価シート

施策番号【1-2】

評価年度	令和2年度	事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	岡田 高行	
施策番号	1-2	施策名	心豊かな子どもを育てよう		総合計画掲載頁	66~69
主担当部名	教育部					
関連課名	教育行政課、学校教育課					

## 1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	小中学校教育	R5 中間値	R10 目標値
指標名	「学校は楽しい」と思う児童生徒の割合		
指標の定義	「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合(学校評価アンケート)	(小学校)95% (中学校)90%	(小学校)98% (中学校)93%
取組分野	青少年健全育成	R5 中間値	R10 目標値
指標名	青少年健全育成に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「青少年健全育成」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)	65%	70%
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

## 2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

取組分野1 小中学校教育		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標①	成果指標名	学校支援ボランティア登録者数	人	95	100	100	110
	対象	市民及び学生					
	把握方法	学校支援ボランティアに登録した人数					

取組分野2 青少年健全育成		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標②	成果指標名	街頭啓発活動への参加者数	人	117	120	130	140
	対象	市民					
	把握方法	街頭啓発活動への参加者数					

		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標③	成果指標名						
	対象						
	把握方法						

		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標④	成果指標名						
	対象						
	把握方法						

		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標⑤	成果指標名						
	対象						
	把握方法						

## 3 施策の評価

### ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)		
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>心豊かな子どもを育てるため、市内の小中学校では、35人学級の実施や少人数指導など、児童生徒一人一人の教育的ニーズを満たす、きめ細やかな教育を実践している。今後は個別の支援が必要な児童生徒への対応の拡充が重要になる。また、安全・安心・快適な環境づくりを進めるため老朽化した施設の改修や各種設備の整備に取り組んでいる。</li> <li>青少年健全育成の面では、インターネットやスマートフォンなどの普及により、青少年の交流範囲が広がっている一方で、交流相手がわからないなど短所もあり、特に青少年本人の自覚がないまま犯罪に巻き込まれたり、いじめにつながるケースも増えてきている。</li> </ul>	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭・学校・地域の三者が連携して行う話し合いや各種の実践を通して、積極的に児童生徒や青少年と関わりをもち、地域ぐるみで学校と青少年の健全育成を支える。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育を通じて心豊かな子どもを育てるため、保護者や地域の組織と連携して開かれた学校づくりを進める。また、学校教育に必要な施設の整備など教育環境を充実させる。</li> <li>地域において青少年の健全育成のための様々な活動が展開されるよう、環境づくりを進めるとともに、青少年の健全育成に関する団体等との連携を深める。</li> </ul>
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援ボランティアの学校数当たりの人数は、比較が可能な長久手市、安城市、幸田町のうち、3番目である。</li> <li>近隣の豊田市、豊明市、日進市、東郷町のうち、青少年補導員を設置しているのは豊田市と本市のみ。豊明市、日進市、東郷町は愛知警察署が委嘱している。</li> <li>補導員の月間巡回回数は、豊田市が月3回、本市はH26年5月から月8回。また、本市が実施している青少年を対象とした電話相談は、本市以外では実施していない。</li> </ul>	

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
平成30年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に策定した「みよし市教育振興基本計画」に基づき、各種の事業を展開するとともに、教育委員会だけでなく、PTAや学校評議員会や校区委員会などが連携して、開かれた学校の実践を進めてきた。また、学校内では、平成30年度に道徳の教科化がスタートし、みよし市道徳教育プランを策定するなど道徳教育の研究にも力を入れ、児童生徒の心を育てる教育を大切にしている。</li> <li>青少年健全育成では、青少年健全育成推進協議会による街頭啓発活動や青少年の補導活動の取組「心の電話相談」を実施した。他にも、少年の主張大会の開催やポスターや作文募集などを通じて青少年への意識啓発活動を実施した。</li> </ul>
令和元年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の豊かな人間性を育むため、引き続き「みよし市教育振興基本計画」に基づく事業を展開するとともに、新たに外国人児童生徒とその保護者への進路説明会として「イングリッシュキャンプ」を開催するなど、個人に寄り添った教育支援を充実させた。</li> <li>青少年健全育成に関しては、青少年補導活動を、月8回の定期補導に加え、アイモールや祭事で特別補導として実施しました。また、令和元年度の街頭啓発活動への参加人数や「心の電話相談」件数は、平成30年度と比べ増加している。</li> </ul>
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校教育に関して、心豊かな児童生徒を育てるため、自ら考える力を伸ばす楽しい学校授業を実施する必要があり、また、地域との関わりをもつ児童生徒や、学校との関わりをもつ保護者、市民を増やしていく必要がある。施設整備の面では大規模改修などを通じた老朽化に対する継続的な取組が必要となっている。</li> <li>青少年の健全育成に関しては、地域の担い手等が徐々に減りつつあり、青少年健全育成活動に対して、理解や協力を求めるのが難しい状況となりつつある。また、少年の主張みよし市大会においても、入場者数が減少しており、青少年の健全育成に対する意識の希薄化が懸念されている。</li> </ul>

## 4 活動計画

### ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和2年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルによる「みよし市教育振興基本計画」の検証、評価を実施し、個に応じた教育支援を充実させていく。</li> <li>ICTの活用は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校の臨時休校時における「学びの保障」として、自宅学習の面からも重要性が高まっている。学校施設のICT化や老朽化対策として継続的な学校環境整備を行っていく。</li> <li>青少年健全育成では、市民全体で青少年健全育成に取り組む機運を高めるため、青少年補導員による定期巡回を継続実施するとともに、学校、地域の防犯組織などの関係者と協力して青少年を見守り、指導する体制の強化を目指す。市民への街頭啓発活動も引き続き若い青少年の非行防止や犯罪に巻き込まれないよう、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成に取り組む。</li> </ul>
施策目標達成に向けての令和2年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の教育のさらなる充実を目指すため「みよし市教育振興基本計画」の中間見直しを行う。また、外国人児童生徒のために「学びの森」で開催している初期指導教室を三好丘小学校でも開催し、多様な教育を充実させていく。さらに、施設整備の面では、国の示すGIGAスクール構想に基づき一人1台端末の実施など、学校のICT環境の整備を進める他、三吉小学校の校舎の増築工事やトイレの洋式化など、学校の施設整備に取り組んでいく。</li> <li>青少年の非行防止は長期的な展開が重要であるため、引き続き、青少年健全育成協議会の活動支援や青少年補導員による商業施設・駅・公園などの巡回や街頭啓発、青少年の健全育成推進に関する作品募集の他、地域青少年健全育成団体などへの支援を実施する。また、家庭学習の習慣が十分に定着しなかったり、学習の遅れがちな中高生に対しみよし未来塾を開催するとともに、心の電話相談窓口も行っていく。</li> </ul>